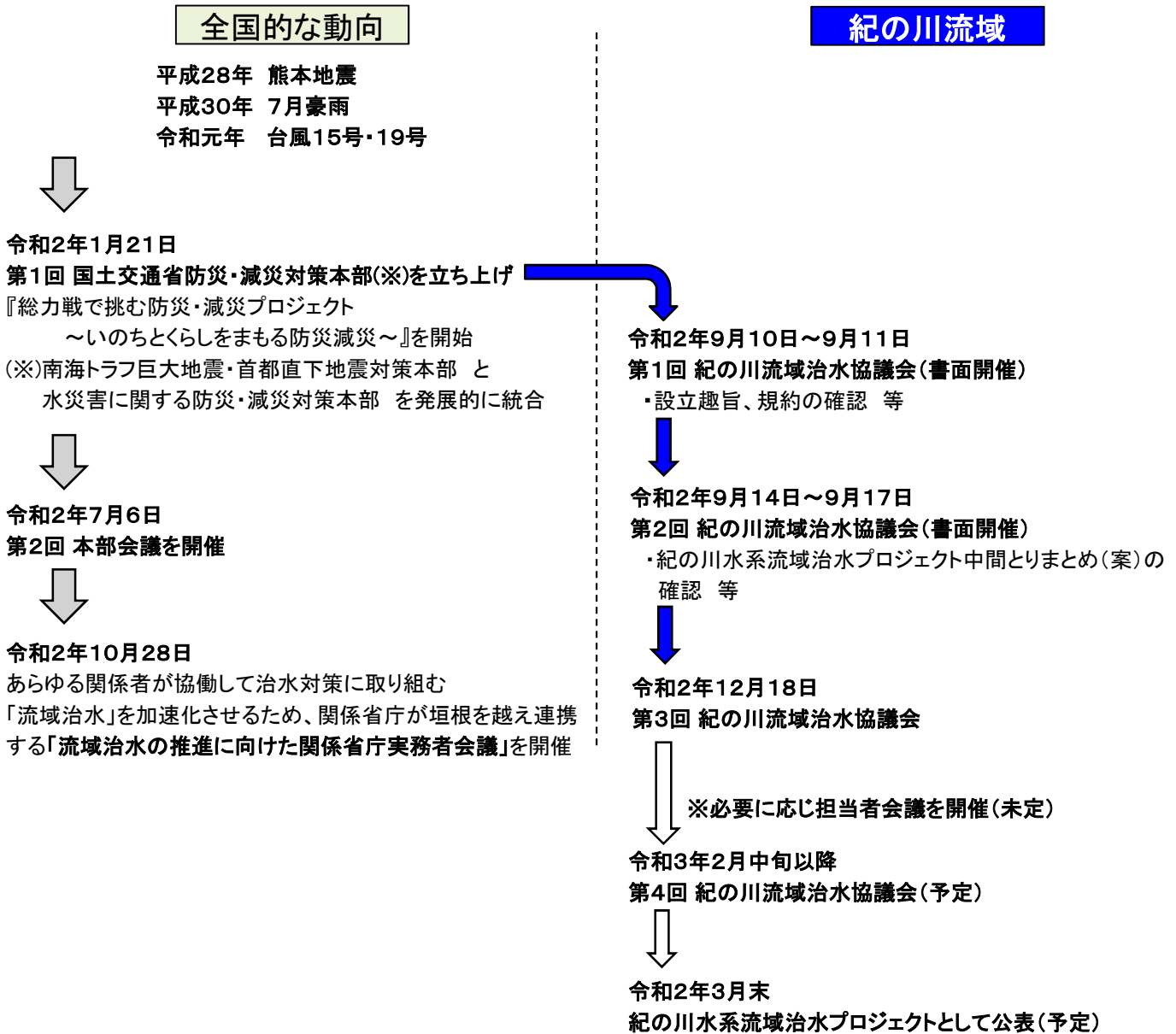


プロジェクトのとりまとめに向けて

プロジェクトのとりまとめに向けて

1. スケジュール



2. 今後の進め方

- ①別添のイメージを参考としてとりまとめる予定。(詳細は本局とも調整中)
- ②令和3年1月中旬を目処に、各自治体組織毎の対策内容をご報告いただく。
- ③追加メニュー、代表事例等についてとりまとめのうえ、第4回協議会で承認決済を行う。

紀の川水系流域治水プロジェクト 中間とりまとめ（案）

作成イメージ

～本州最多雨地帯下流の狭窄部（岩出・藤崎・小田）改築による洪水時の水位上昇を低減～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、紀の川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の昭和34年伊勢湾台風と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



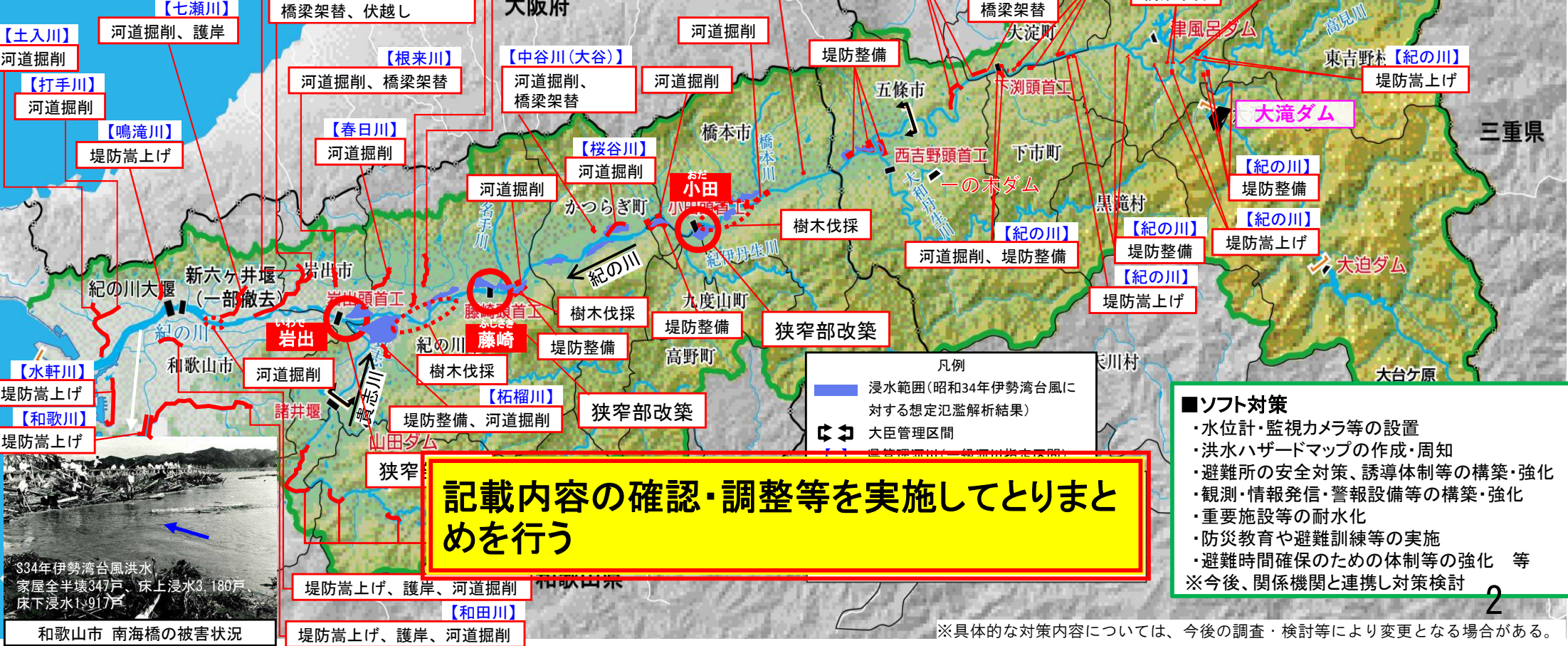
■河川における対策

対策内容 狭窄部改築、河道掘削、堤防整備、堤防嵩上げ、護岸整備、橋梁架替、狭窄部対策の進捗に合わせた大滝ダムの操作規則の改善 等

■流域における対策

- ・雨水ポンプ場の更新、整備
- ・移动式排水設備（排水ポンプ車、可搬式ポンプ等）の整備
- ・利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、奈良県、和歌山県、和歌山市、橋本市、五條市、大淀町、吉野町、関西電力（株）、電源開発（株）、基幹水利施設管理協議会、土地改良区など）
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域） 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



■ソフト対策

- ・水位計・監視カメラ等の設置
- ・洪水ハザードマップの作成・周知
- ・避難所の安全対策、誘導體制等の構築・強化
- ・観測・情報発信・警報設備等の構築・強化
- ・重要施設等の耐水化
- ・防災教育や避難訓練等の実施
- ・避難時間確保のための体制等の強化 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

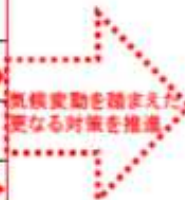
紀の川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

作成イメージ

～本州最多雨地帯下流の狭窄部（岩出・藤崎・小田）改築による洪水時の水位上昇を低減～

- ○○川では、-----で「流域治水」を推進する。
 【短期】*****
 【中期】////////////////////
 【中長期】+++++
- *****である流域の特徴を踏まえ、-----等の流域における対策、
 //////////////////等のソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
	○○川下流の○○地区市街地等を守る河道掘削	○○川河川事務所	下流部(○○下流)		下流部(○○地先上流)
	○○川中流の○○地区市街地等を守る河道掘削	○○川河川事務所 ○○県		渠道○○橋完成	上流部、支川○○川
	○○の橋梁改築	○○川河川事務所 ○○県	渠道○○橋完成		
	○○の堰改築	○○川河川事務所	渠道○○橋完成		
流域における対策	流出抑制対策	○○県 ○○市、○○町 等	○○調整池 ○○ポンプ場の完成(○○市)		洪水対策施設の新設等(○○市、○○町)
	内水被害軽減対策	○○県 ○○市、○○市 等			
	「安全なまちづくり」に向けた取組	○○市 等	立地適正化計画に基づく防災指針(○○市)		
ソフト対策	被害軽減対策	○○川河川事務所 ○○県 ○○市、○○市 等	関係機関の連携強化(○○町)		避難所等タイムラインの策定(○○市)
	ソフト対策のための整備	○○市 等	危機管理型水位計の設置(○○市)		



※スケジュールは年度別事業計画によって変更となる場合がある。



※直轄管理区間において、平成16年10月洪水と同規模の洪水が発生した場合の氾濫想定範囲